

第60回試験研究成果発表会（林業）動画配信 発表概要

【日 時】 令和5年2月21日（火）～3月20日（月）

【場 所】 YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」

発表1 成果発表

自然植生と造林木におけるシカ等による被害の実態

森林研究所 岩澤 勝巳

千葉県では近年、シカ・キョンの生息数が年々増加していると推定されており、農作物が大きな被害を受けています。一方、シカ等による自然植生への被害は調査が行われておらず、被害の実態が明らかになっていません。また、造林地においても、苗木の食害や角こすり被害が発生しており、その実態を把握することは効果的な被害対策を講じる上で重要です。そこで、自然植生及び造林地においてシカ等による被害状況の調査を行い、その実態を明らかにしましたので紹介します。



自然植生の草本類を食べるシカ



角こすり被害で枯死したスギ苗木

発表2 成果発表

千葉県産マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの選抜と特性把握

森林研究所 小林 沙希

クロマツは海岸防災林を造成する重要な樹種ですが、松くい虫による枯損被害が発生しています。そこで、被害の原因であるマツノザイセンチュウに抵抗性を持ち、千葉県の環境に適していると考えられる、千葉県産マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツを新たに4品種選抜しました。また、平成23年度に選抜した千葉県初の抵抗性クロマツ「富浦7号」の抵抗性、種子生産性を評価しましたのでご紹介します。



接種試験による選抜状況



千葉県初の抵抗性クロマツ「富浦7号」

発表3 成果発表

ドローンを活用して松くい虫被害木を見つける

森林研究所 福原 一成

海岸防災林における松くい虫の被害を減らすためには、被害木を全て伐採・搬出することが必要です。従来は、被害木を見つける作業を地上から目視で行っていたので、見落としが生じていました。また、林内に立ち入っての作業は大変で、被害木の位置と数量を把握することが困難でした。これらの問題を解決するため、ドローンによる上空からの被害木探査を行ったところ、迅速に位置と数量が把握でき、作業も大幅に軽減されたのでその概要を紹介します。



ドローンによる被害木探査の様子



ドローンによる空撮写真